

平成26年度事業計画

1 財 団 管 理

(1) 理事会

公益財団法人鳥取童謡・おもちゃ館の理事会の開催、運営等を行う。

(2) 事務局

公益財団法人鳥取童謡・おもちゃ館の事務局の運営等を行う。

2 事 業 管 理

(1) 施設管理事業

鳥取県及び鳥取市から県立童謡館及び鳥取世界おもちゃ館の管理・運営について受託し、円滑かつ特色のある地域文化の振興に資する。

<運営内容(わらべ館)>

◎入館料

| | | |
|-----|----|------|
| 個人 | 一般 | 500円 |
| 団体 | 一般 | 400円 |
| 外国人 | | 250円 |

無 料: 幼児、小学生、中学生、高校生、友の会会員及び障がい者、介護保険の要介護者、要支援者とその介護者

入館料無料の日: 関西文化の日の他に新たにわらべ館創立日(7月7日)、鳥取県民の日(9月12日)

◎多目的ホール利用料

消費税の引き上げに合わせて、3%引き上げる。

午前・午後 5,500円→5,650円

◎休館日

毎月第3水曜日(祝日となる場合は翌日)

但し、6月と8月は休館日無

年末年始(12月29日～1月1日)

◎開館時間

9:00～17:00

但し、ゴールデンウィーク 5月3日(土)～5月6日(火)は、9:00～18:00、
夏期 8月13日(水)～8月17日(日)は、8:00～17:00

<管理運営組織(わらべ館)>

別紙

(2) 童謡に関する事業

年間テーマ「唱歌ふるさと誕生100年～童謡・唱歌を次の世代に歌い継ごう～」

| 事業名 | 実施時期(予定) | 実施場所等 | 概要 |
|-----------------------------|----------------------|-------------------|--|
| 唱歌教室 | 定期 臨時 90回 | 木造教室 | 昭和初期を再現した木造校舎で、当時の服装をした講師が足踏みオルガンで、季節の唱歌を来館者と一緒になって歌って楽しんでもらう。 また、団体客を対象に臨時教室を開催し、わらべ館の魅力を堪能していただく。 |
| にじいろコンサート | 年8回 | エントランスホール・童謡コーナー | 県内で音楽活動をしている人にエントランスホールと童謡コーナーを会場として提供し、音楽に親しんでもらうとともに童謡・唱歌の啓発普及を図る。 |
| なつかしのわらべ倶楽部 | 年4回 | いべんとほーる | 高齢者を対象に、なつかしい童謡・唱歌や昔の遊びを楽しむイベントを開催することにより、童謡・唱歌の持つ魅力を再認識していただくとともに愛好者の拡大に努める。 |
| 童謡コンサート | 年15回 (県内13回、県外2回) | 県内外 | 県内の教育機関・社会福祉施設・社会教育施設及び県外の鳥取県人会・出先機関等で童謡・唱歌推進員による童謡コンサートを開催し、童謡・唱歌の啓発普及を図る。 |
| おんがくびより | 通年 | エントランスホール・いべんとほーる | 子どもやおとなが休みになるゴールデンウィーク、祝日、夏休み、冬休み期間に童謡に関するイベントを開催する。 |
| 童謡・唱歌調査研究 | 通年 | | 鳥取県ゆかりの音楽家をはじめ、童謡・唱歌に関する調査研究を進め、その成果を発信する。 |
| | 6月 | いべんとほーる | |
| 童謡・唱歌企画展 | 年3回 | うたの広場 | 童謡・唱歌の調査研究の成果を関連イベントを開催市、童謡・唱歌の情報を発信する。 |
| 童謡・唱歌資料収集 | 通年 | | 調査研究や展示のため鳥取県出身の音楽家に関する資料や、広く童謡・唱歌に関する資料を収集する。 |
| (新) 永井幸次生誕140年 記念事業 | 5/22～6/15 (資料展示) | エントランスホール | 永井幸次生誕140年記念して、彼の作曲作品を中心に資料展示とコンサートを開催し、その偉業を振り返る。 |
| | 年1回(コンサート) | いべんとほーる | |
| (新) 唱歌「故郷」誕生100年 記念事業 | 年間常設 | 1階 音楽室 | 記念コーナー設置 |
| | 6/18～10/14 | 1階 うたの広場 | 記念企画展 |
| | 6月または7月、10月 | いべんとほーる | 記念講演会・コンサート |
| (新) 高野辰之の記念館との交流事業 | 随時 | 随時 | 唱歌「故郷」誕生100年を契機に、鳥取県出身の作曲家 岡野貞一とコンビを組んで多くの素晴らしい唱歌を作詞した高野辰之の記念館との交流を進める。 |

(3)おもちゃに関する事業

年間テーマ「障がいのある人もない人も、ともに楽しい遊びの世界」

| 事業名 | 実施時期(予定) | 実施場所等 | 概要 |
|-------------|---|-------------------------------|--|
| おもちゃワールド | 夏まつり編 8/1～8/31 冬編 12/20～1/18 | いべんとほーる | 常設展示では味わえない様々なおもちゃ(鉄道・車のおもちゃ、ままごとセット、知育玩具、ファミリーゲーム、ベビーおもちゃ等)を導入し、親、祖父母、子どもが相互にコミュニケーションを図る遊び場として展開する。子どもの創造性、協調性、社会性を育むことを目的とする。 |
| おもちゃづくり体験 | 毎週土曜日・日曜日(※第1土曜は除く) 春編、GW編、夏編、冬編 臨時編(開催日以外の日で希望に応じ、キットを限定して開催。) | わらべ館 | 毎週土曜日・日曜日(第1土曜は除く)と幼稚園・保育園・小学校等の休みの期間に対応して、木製おもちゃの工作教室を実施する。 通常編・長期編の工作指導はアルバイトが対応し、臨時編はわらべ館職員で対応する。 |
| おもちゃ教室 | 年10回 | 学校、公民館等 | 県内の学校、公民館等に出向き工作の指導を行い、手作りおもちゃを作る楽しさを体験してもらう。 |
| おもちゃの病院 | 原則第4日曜日(月1回) 館外出張(年1回) 研修会(年1回) | エントランスホール いべんとほーる 館外施設等 | おもちゃの修理を通して、子どもに“物を大切にすること”を伝え、おもちゃへの興味・関心を深めることを目的とする。ボランティアスタッフがお客様と一緒に壊れたおもちゃを工夫しながら修理する。研修会を開催し、スタッフの技術向上を図る。 |
| おもちゃの銀行 | おもちゃ寄付募集(通年) プレゼントイベント(年1回) | いべんとほーる | おもちゃのリサイクルを通して、子どもに“物を大切にすること”を伝えることを目的とする。ボランティアスタッフと協力しながら、寄付いただいたおもちゃのクリーニング・修理を行い、リサイクルしたおもちゃをプレゼントイベントで希望のお子様に贈る。 |
| おもちゃびより | 土、日、祝日を中心に6回 | いべんとほーる、 エントランスホール | 人気のある鉄道模型のイベントなど、休日対象にした家族参加型のイベント企画し、ふれあいの空間を演出する。 |
| (新)デザイナー誕生! | 年1回 | エントランスホール | きせかえ人形の楽しみ方の一つとして、参加者によるドレスのデザイン画を募集し入賞作品を展示する。 |
| おもちゃ調査研究 | 通 年 | | 収集した資料の歴史、素材等の調査を行うとともに、全国の類似施設の取り組みを訪問調査し、わらべ館の運営に活かす。 |
| | 11月 | いべんとほーる | おもちゃや遊びの研究者や実践者、パフォーマを講師、演者に迎え講演、実演、ワークショップ等を開催する。今年度は国立民族博物館の広瀬浩二郎氏を講師に、五感を使う体験型ワークショップを開催する。 |
| おもちゃと遊びの企画展 | 4月～6月 | ギャラリー童夢 | おもちゃの世界の合戦絵巻 |
| | 6月～9月 | | 世界の音色(民族楽器) |
| | 9月～12月 | | 人形が生まれるまで |
| | 12月～3月 | | 干支の郷土玩具展(未年) |
| | 9月 10月 | エントランスホール | 25年度新収蔵資料展 モビール展Ⅱ |
| おもちゃ資料収集 | 通年 | | 調査研究や展示のため日本のおもちゃ、海外のおもちゃ、干支の郷土玩具、鳥取に関係するおもちゃと情報を収集し、おもちゃの拠点施設としての展示内容を充実させる。 |

| | | | |
|---|-----|-----------|--|
| (新) 「'89鳥取世界おもちゃ 博覧会」の調査・展示 企画 | 年1回 | エントランスホール | 鳥取市制100周年記念事業で収集されたおもちゃにわらべ館が収蔵資料を加え、同展覧会を振り返る展示を実施する。 |
|---|-----|-----------|--|

(4)童謡館とおもちゃ館の共同事業

| 事業名 | 実施時期(予定) | 実施場所等 | 概要 |
|------------|---|---|--|
| えいがの時間 | 4月、7月、12月、 年3回 | いべんとほーる | 子どもや親子向けの映像作品、童謡・唱歌や玩具をテーマとした映画の中からあまり流通していない作品や過去の優れた作品を上映し、映画館の雰囲気の中で鑑賞する機会を設ける。 |
| わいわい交流イベント | 通年 | おもちゃ工房 エントランスホール いべんとほーる 滝の広場等 | 広くなったおもちゃ工房の利用を含め、職員を中心とした機動性のある参加型イベントを開催する。 |
| ボランティア活動推進 | 通年 | ライブラリー 木造教室等 | 多様化する来館者のニーズに対応し、わらべ館活動の拡大と館内活動を支えるためにボランティアを育成する。 |
| 七夕とわらべ館誕生祭 | ・誕生祭 7月7日 ・展示期間 7月1日～6日 (誕生祭ウィーク、前日祭) | いべんとほーる、 エントランスホール | わらべ館の誕生日と七夕が同日であることから、この二つを組合せ、入館者の方楽しんでいただくイベントを開催し、PRを図る。 ①誕生祭 開館周年記念セレモニーを行い、七夕飾り、歌等で誕生祭を祝い、夢兎、ロビットと遊んだり、写真撮影会を開催。 ②七夕飾り 館内外には一般的な七夕飾りを行う。 ③誕生祭ウィーク、前日祭 誕生日や七夕にちなんだ曲を中心とした童謡・唱歌の開催 |
| ホリデーイベント | 通年 | いべんとほーる、 エントランスホール | わらべ館が一層親しみの持てる施設となるよう、通常のイベントとはひと味違った総合イベントとして、ゴールデンウィーク期間中並びに夏休み期間中などに、日替わりでイベントを実施する。 |
| 入館促進・広報事業 | 通年 | | 各種の媒体にわらべ館の紹介やイベントの情報等を広く案内するとともに、県内及び近県の観光地の旅館、ホテル等の宿泊施設並びに旅行会社、バス会社等を訪問し、個人客及び団体客の誘致に努める。 ①「イベントカレンダー」「わらべ館だより」を年6回発行し、入館者・友の会会員・関係機関に配布し、わらべ館に関する情報提供を行う。 ②各種イベント、講演会等について、県政及び市政記者室等へ情報提供を行う。 ③各種イベント、講演会等のポスター・チラシを関係機関に配布する。 ④ホームページを通じて、わらべ館の情報提供を行う。 ⑤友の会加入促進により、会員の増加を図る。 ⑥リピーターの獲得のため、ポイントカードを発行する。 ⑦団体客の増加を図るため、県内・県外(関西、中国、四国等)の旅行代理店及びバス会社等を訪問しPRする。 ⑧県内及び県外近隣の旅館、ホテル等を訪問しPRを行う。 ⑨車両誘導用の電柱看板を継続する。 ⑩新聞、旅行雑誌にわらべ館の紹介やイベント情報等を掲載する。 |
| (新)今月のいっぴん | 年間12回 | エントランスホール | 童謡・唱歌とおもちゃに関する調査研究の成果や収集した資料等を月ごとにテーマを変えて紹介し、入館者に魅力アップを図る。 |